

日韓談話室主催の崔書勉先生を囲む会に参加し、韓国を訪問したり、日韓の歴史を多面的に学ぶ機会を得たり、又深く意義のある勉強の場を作って下さっている崔書勉先生と寺田佳子さんに心からの感謝を申し上げたい。

私は今では韓国文化院で韓国歌曲を歌ったり、合唱を楽しんでいる。閑話休題、次に崔先生とのかかわりの中において特に印象に残っている四点を記してみようと思う。

第一、故金山政英大使の法事で韓国を訪れた折のこと

崔先生は墓前で「私は金山大使の隣に眠る」とポツリと語った。その時、金山大使に対する崔先生の熱い思いが伝わってきた。と同時に金山大使と心が通い合っている先生の姿を目前で拝見し、お二人はなんと幸せな方達だと強く感じたことを想起している。

第二、ソウル南山の安重根義士記念館を訪れた時のこと

安重根義士記念館に収められている安重根直筆の高能書から「四書三経」、詩文や、きわめて雄渾な遺墨の数々を鑑賞した時、漢字の家に生れ、強い意志と秀でた頭脳を持ち、高い学問をきわめている安重根の姿を垣間見た思いであつた。

第三、金鍾泌元國務総理先生のこと

日本そばがお好きで、大手町皇居前のパレスホテルクラウンラウンジで夜景を楽しむのがお好きでいらした金鍾泌先生が青山学院大学名誉博士号受賞祝賀会において語られた、日本の総理との会談、「大平会談」の内容は特別な思いで拝聴させていただいた。

第四、朴槿恵議員のこと

ソウル国会内の午餐会に招かれた時のことは生涯忘れることのない貴重な体験であった。美しく気品のある物おじしない態度に魅せられながらも、真近でお話できる良い機会と思ひ質問を試みた。

「パク・クネさん、ご結婚は何時ですか？」明るく微笑みをたたえ、澄んだ瞳でじつと私を見つめ、美しい声で答えて下さった。

「私は政治と結婚するのです。」「韓国発展の基礎を築いた父、朴正熙、国民的人気のあつた母、陸英修に対する人々の郷愁を考え、そう決めたのです。」と。

平成二十四年十二月の大統領選挙まであと七か月となった。初の女性大統領へ前進し、「ブレない姿勢」で、高い望みを果たすことを期待したいと思料している。

日本上陸から五十五周年を迎える崔先生の祝賀会開催、本当におめでとうございます。

最後になりますが、これからも益々お元気に過ごされ、私達に何かと御教示を賜りたく存じます。